

第5,6学年 高森ふるさと学 (CLIL)

日 時 令和8年7月2日(木) 第5校時

場 所 1・2年生ホール

指導者 Lee James Cockerham、安方 幸子

I 単元構想

単元名	Project I All about Me 自己紹介をして、もっと深く知り合っていこう!	
単元の目標	既習の表現を思い出しながら (1) 自己紹介をする時のマナーを身につけている。 (相手の見て対話する、声の大きさ等) 主体的に学習に取り組む態度 (2) コミュニケーションとして成り立つためのヒントを学び、楽しくやりとりをできる。 思考・判断・表現 (3) タイピングや早口言葉等を行うことで、日本語との違いに気づくとともに、聴く力と同時に話す力や語順も繰り返し学習により身につけている。 知識・技能	
	知識・技能	思考・判断・表現
①英文作成のルール(語順、ピリオド、スペース)をタイピングを通して身につけている。 ②自己紹介の基本事項を理解している。	①伝える相手や内容に応じて、適切な言い方を表現したりしている。	①自己紹介を分かりやすく伝えるための工夫(声の大きさ、スピード等)をして伝えようとしている。 ②一方的な紹介にとどまらず、相手の話を引き出そうと質問をしている。
見通す	選択する	実感する
・単元末に行う自己紹介にて、自分が伝えたいことを準備している。 ・Listening, Speaking, Reading, Writing の活動の中で、自分の苦手な活動を考えて取り組もうとしている。	・TypeGO を使って、自分に合う方法で英文タイピングの練習を選択している。	・Tongue Twister で、舌の使い方がスムーズになったことがわかる。 ・「レッツえい GO(熊日)」で、国内外のニュースに触れることで、聴き取る力と読み取る力が高まっている。 ・自己紹介の内容を自分の言葉で丁寧に話し、質問に答えられるようになったことを実感し自信に変えている。
単元終了時の子どもの姿	・言語を適切に活用して、自分が伝えたいことを考えて、自分の言葉で伝えられた実感を持っている。 ・英文の構造やルールを身につけ、意識して書いている。	
本単元で働かせる見方・考え方		
CLIL を構成する4C を生かす(Content, Communication, Cognition, Culture&Community)		
○自己紹介は、自分が伝えようとしている内容が、分かりやすい内容か、相手に伝わるように発言しているか、相手の反応を意識しながら取り組むこと。 (Communication) ○昨年度「話す力」を身につけたいと考えていた児童が多かった。内容や話題を、自分なりに工夫し、さまざまな英文に触れて使う機会を確保する。 (Cognition) ○英語は使いながら身につけていくものであることに気づくこと。	○対話を続けるには、相手を意識して分かりやすく話すこと。 思考・判断・表現 ○帯活動(TypeGO、レッツえい GO(熊日)、tongue twister)を通して、英語の音や英文の構造に慣れていく。 知識・技能 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・TypeGo:自分の興味に合わせて題材を選択し集中してタイピングに取り組むこと。 ・TongueTwister:短い時間で自分のリズムで確実に発音できるように、舌の筋肉を鍛える。 ・レッツえい GO:ニュースを通して、国内外の文化・習慣等を理解すること。 </div>	

2 Project 計画

指導計画(7時間取り扱い 本時7/7)		
課程	時間	学習活動
1	1	<p>○オリエンテーション 授業の時間の流れについて説明を受ける。 【見通す】</p> <p>○自己紹介をスムーズにできるための目標設定をする。</p> <p>○Profile シート(All about Me)の日本語を参考に、自分のことを記入する。</p> <p>Reading 資料(くま TOMO レッツえい GO!)の使い方、TypeGO の使い方を知る。</p>
	2	<p>○Lee 先生の Profile シートの記入例を参考に、I like /I don't like の絵を描くことで、有効なコミュニケーション方法があることを知る。</p> <p>(活動ゴール)I like /I don't like の項目を描き、すべての項目を英語で記入する。</p> <p>(記入時の留意点)タブレットで検索、または先生や友達に質問する。【選択する】</p>
	3	<p>○Challenge Small Talk (自己紹介する) Lee 先生の例を参考にする。</p> <p>(活動ゴール)Small Talk 活動に挑戦し、できるだけ多く質問をすることで会話を深める。</p> <p>(活動時の留意点) 声の大きさ、ジェスチャー、アイコンタクトを意識して活動する。</p> <p>(一斉に) tongue twister レッツえい GO! 【実感する】</p> <p>(個別に) All about Me の文章を検討・完成する。 【選択する】</p>
2	4	<p>○視覚的にアピールできる Profile Card を作る。</p> <p>(活動ゴール) Profile Sheet を参考に、Profile Card を作成する。</p> <p>(作成時の留意点) 名刺サイズの Card なので、絵や色を使い、視覚的に伝わりやすいよう工夫する。</p> <p>○「自己紹介をして知り合いになろう」について発表する。 【実感する】</p> <p>できた点、努力が必要な点を振り返り次の単元学習に生かす。</p>
3	5	<p>○Profile Card を使い、Lee 先生に自己紹介する。</p> <p>(活動ゴール) 氏名、誕生日、出身地を含め5項目紹介する。</p> <p>(活動時の留意点) 声の大きさ、ジェスチャー、アイコンタクトを意識して活動する。</p> <p>○Profile card の記入内容を見て、質問方法を確認する。</p>
	6	<p>○Profile Card を使い、お互いに自己紹介する。</p> <p>(活動ゴール) 渡された Profile card を見て、相手に少なくとも1つ質問をする。</p> <p>(活動時の留意点) 声の大きさ、ジェスチャー、アイコンタクトを意識して活動する。</p> <p>前時にクラスメイトから学んだ良い点に留意して取り組む。</p> <p>○自己紹介をするときの、留意点を確認する。</p> <p>(はっきりと伝える。名前は特にゆっくり発音する等。)</p>
4	7 本時	<p>○Profile Card を使い、お互いに自己紹介する。</p> <p>(活動ゴール) 互いに自己紹介をすることで、「分かる喜び」と「伝わる喜び」を感じ、コミュニケーションを楽しむ。 【実感する】</p> <p>(活動時の留意点) 前時に確認した、留意点を再確認して、自己紹介に取り組む。</p>

3 本時の学習

(1)ねらい

○発表側: 次の留意点を意識して、積極的な気持ちで、自己紹介しよう。

【留意点】相手に自分のことを丁寧に伝えるということを意識する。

自分の氏名は特にゆっくりと・はっきりと発音する。

クリアボイス・アイコンタクトに心がけ、ジェスチャーを交えて伝える。

○聞く側: 次の留意点を意識して、Profile card を参考に、少なくとも1つは質問しよう。

【留意点】アイコンタクト、ジェスチャーを心がけ、相手が伝えようとすることをしっかりと受け止める。少なくとも一つは質問し、交流を深める。

(2) Warming-up Activity 教材 (インプットとしての活動: 音に慣れる)

(レッツえい GO): The Japan Parade was held near Central Park in New York's Manhattan in May. Various groups performed dances and martial arts. The annual parade was held for the fifth time to promote the charm of Japanese culture.

(Tongue Twister): If two witches were watching two watches, which witch would watch which watch?

(2) 展開

過程	時間 (分)	学習活動 (予想される児童の発言)	指導上の留意事項
Warm-up	10	Greeting 【Warming-Up Activity】 I レッツえい GO Japan Parade in New York ① Listen T: What words did you hear? S: Japan, New York, parade, dances T: What does "martial arts" in Japanese? (judo, kendo, etc) S: karate? Budo! T: Are there any events we can experience foreign Countries' Cultures in Kumamoto, Aso, Minamiaso, or Takamori? S: Halloween! ② Repeat (Shadowing)	① Listen: 聞き取るポイントを意識して2回 (natural speed と slower speed) Listening にチャレンジするよう伝える。 <u>知識・理解</u> 《聞き取るポイント》 1 where in New York did they have Japan Parade? 2 When did they have Japan Parade? 3 Was it the first time to have Japan Parade? 4 Why did they have Japan Parade? ② 聞き取るポイントの答えを確認する ③ Martial Arts の例を示す。柔道、剣道、合気道、空手、太極拳、少林寺拳法、テコンドー、ムエタイ、等 ④ Repeat (Shadowing) : slower speed で shadowing する。 ※難しい場合は、Lee 先生に Repeat する。 Praise students' effort to listen and read.

		<p>2 Tongue Twister</p> <p>① Listen to Lee sensei</p> <p>② Practice 1 minute</p> <p>③ Challenge 20 seconds</p> <p>④ write how many times on the tongue twister sheet</p> <p>S:whichと witch が続くのが難しかった。Watchと watchingがあるのもややこしかったね。 今日は2回しか言えなかった。</p>	<p>⑤時間がない場合は、阿蘇や熊本で開催される国際交流、海外文化を体験できるイベントを紹介。</p> <p>① Be quiet and Listen closely. 聴くことに集中するよう伝える。</p> <p>② 練習する前に which/witch/watch の練習をさせる。 watch は2つの意味を確認させる。 ※witch の人形と watch を準備する。 ※練習できていない児童は、教師と一緒に発音・練習するよう指導・支援する。</p> <p>③ チャレンジしていない児童には声をかけて、チャレンジするよう促す。</p>
Main activity	25	<p>【Main activity】</p> <p>① Remind basic rules when they introduce themselves.</p> <p>② Watch an example of introducing activity with Profile Card.</p> <p>③ Start Introducing activity.</p>	<p>① Basic Rules の確認をする。<u>知識・理解</u></p> <p>② Lee&安方で例を示した後、ボランティアの生徒一人と Lee 先生でやってみる。Profile card は各自1枚なので終わったら返してもらい、次の人と活動をするよう指示する。 <u>主体的に学習に取り組む態度</u></p> <p>③ 少なくとも2人の参観者に行き、自己紹介をするよう指示する。 Lee と安方は、活動できていない生徒の支援にあたる。 <u>思考・判断・表現</u></p>
Review	8	<p>【Self-Evaluation】</p> <p>① Take out the sheet and write good points on Project I Japanese OK</p> <p>② Share good points with classmates.</p>	<p>① 日本語でもいいので、少なくとも2つの good points を記入する。 自分のこと、クラスメイトのことでもよい。</p> <p>② 2~3名の生徒を指名し発表させる。</p>
	7	<p>【Closing Activity】</p> <p>① put profile cards in the file.</p> <p>② take out the tablet and start Type Go for about 5 minutes.</p> <p>Greeting</p>	<p>① 片づけが終わった生徒はタブレットを開けて、Type Go を始めるよう指示する。 <u>知識・技能</u> 取り組んでいない生徒、タイピングの方法がわからない生徒に指導・支援する Praise students' concentration on typing.</p>